

ろうきんの理念

ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。

ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的とします。

ろうきんは、働く人の団体、広く市民の参加による団体を会員とし、そのネットワークによって成り立っています。

会員は、平等の立場でろうきんの運営に参画し、運動と事業の発展に努めます。

ろうきんは、誠実・公正および公開を旨とし、健全経営に徹して会員の信頼に応えます。

ろうきんの基本姿勢

目的

ろうきんは、
はたらく仲間がつくった
福祉金融機関です。

ろうきんは労働組合や生活協同組合のはたらく仲間が、お互いを助け合うために、資金を出し合っ
てつくった協同組織の金融機関です。

運用

ろうきんは、
生活者本位に考える
金融機関です。

ろうきんの業務内容は、預金やローン・各種サービスなど、一般の金融機関とほとんど変わりません。しかし、資金の運用がまったく違います。はたらく人たちからお預かりした資金は、はたらく人たちの大切な共有財産として、住宅・結婚・教育資金など、はたらく仲間とその家族の生活を守り、より豊かにするために役立てられています。

運営

ろうきんは、
営利を目的としない
金融機関です。

ろうきんは労働金庫法というルールにもとづいて、非営利を原則に公平かつ民主的に運営されています。

ろうきんの事業運営3原則

労働金庫法第5条には、

ろうきんの事業運営3原則

「非営利の原則」

「会員に対する直接奉仕の原則」

「政治的中立の原則」

が定められています。

当金庫では、この3原則にもとづき中期計画および年度事業計画等を策定して事業を運営しています。

静岡ろうきんの概要 (2025年3月末)

本店所在地
静岡市葵区黒金町5番地の1



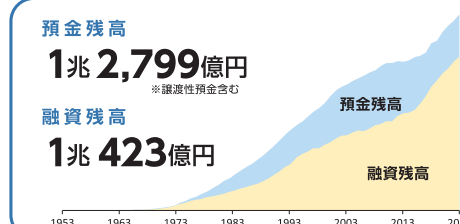
創 立
1953年3月1日



出 資 金
38 億円



店 舗 数 (インターネット静岡支店含む)



団 体 会 員 数
2,201 会員
間 接 構 成 員 数
570,948 人



く る み ん 取 得



健康経営優良法人2025認定
(大規模法人部門)



ごあいさつ

平素より、私ども静岡県労働金庫をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

当金庫の事業の状況をご案内するため、本年もディスクロージャー誌「静岡ろうきんレポート」を作成いたしました。多くの皆さまにご高覧いただき、当金庫に対するご理解を一層深めていただければ幸いです。

今中期計画『en縁』(2024-2026年度)では、前中期計画期間でつないだはたらく人とその家族・地域の人びととの「縁」をさらに浸透させるとともに、ろうきんに関わるすべての人びとが満たされる「Well-Being」をめざして基本戦略にもとづく活動を実践しています。

2024年度はその初年度として、会員・お客様へ“グッドマネーの循環”を積極的に周知し、当金庫とのお取

引を通じて利用者のみならずそのご家族・知人にも共感・賛同いただけるよう取組みを進めてまいりました。不安定な世界情勢や「金利のある世界」の再来により極めて先行き不透明な中にありながらも、ろうきんファン拡大に向けた多くの運動項目で目標を達成することができましたのは、運営委員会や会員の皆さまの〈ろうきん運動〉への格別なご理解とご協力の賜物であり、改めて感謝を申し上げます。

当金庫は、福祉金融機関として設立された当初から複雑で変化著しい現在に至るまで、はたらく仲間からお預かりしたご預金を同じくはたらく仲間へのご融資として循環させて続けています。この「助け合い」による資金の循環、すなわち“グッドマネーの循環”はろうきんの事業の根幹であり、これからも変わることはありません。先行き不透明な環境にあるからこそ、今後も“ろうきんらしさ”である会員の皆さまと協働した「世話役活動」にこだわり、役職員一丸となって更にろうきんの存在価値を高めていくことができるよう邁進してまいります。

私たちの小さな取組みの先には、はたらく人とそのご家族の夢と幸せの実現があることに思いを馳せ、〈ろうきん運動〉の輪を拡げていくための取組みに対し、引き続き皆さまの変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2025年7月

理事長

増田泰孝

Contents

運営理念	1	中期計画『縁』	5
静岡ろうきんの概要	2	静岡ろうきんSDGs実践方針	7
ごあいさつ	2	SDGs達成に向けた具体的取組み	9
2024年度の事業環境と業績	3	静岡ろうきんのあゆみ	17